

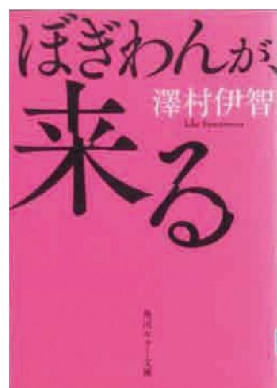


怖い話で涼しさを

夏に怖い話をするのは死者の霊が戻ってくる「お盆」の時期だからという説があります。厳しい暑さをヒヤッとやり過ぎませんか。

『ぼぎわんが、来る』

澤村伊智／KADOKAWA



「あれ」が来たら、絶対に答えたり、入れたりしてはいかんー。妻と娘の家族3人で幸せな生活を送っていた男の周囲で起きる不可思議な出来事の数々に、祖父の言葉を思い出す。「あれ」とはいったい何物なのか？ 映画化もされた日本ホラー小説大賞受賞作。

『おそろし 三島屋変調百物語事始』

宮部みゆき／角川書店



実家での出来事がきっかけで他人に心を閉ざしてしまった17歳のおちか。江戸で店を構える叔父夫婦のもとで黙々と働いていたある日、叔父から客の対応を任される。いつしか次々に訪れる人々の不思議な話に引き込まれていく彼女が、最後に見たものとは？

『54字の物語』

氏田雄介／PHP 研究所



暑くて本をじっくり読む気になれない人におすすめ。たった54字でつづられた物語には、文字数では計れない意味が隠されています。1ページに1編54字の超短編、ページをめくるとその解説が書かれているので、謎解きのように読み進められる1冊。

『夜の神社の森のなか』

大野隆介／ロクリン社



神社の敷地で遊んでいたケンジが見つけたあるもの。それは、とある妖怪の落とし物だった。妖怪に返してほしいと頼まれ、真夜中に神社の奥の森に進む彼は、無事に落とし物を届けて帰ることができるのか？ 白黒の世界で描かれる妖怪たちの姿は、迫力満点です。

【対象：小学生まで】 図書館にいる“妖怪さがし”に挑戦しよう

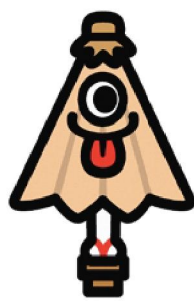
妖怪がいる期間

8/13(木) → 8/23(日)



「ようかいろうく」シリーズ（大野隆介作／ロクリン社）に出てくる妖怪12体（イラスト）が図書館のどこかにかくれています。図書館で配るチェック用紙（先着100人）で12体全部探してチェックしよう！

- ※ 図書館本館と各分室にそれぞれ12体いるので、3館を巡る必要はありません
- ※ 妖怪が驚いて逃げるかもしれませんので、図書館の中では静かに探してください



- 問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
- 開館時間／午前10時～午後6時 ● 休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）



がんばってます！消防団

編集 ● 第7分団

火遊び・花火による火災を防止しましょう

— ルールを守って楽しい花火を —

火遊びによる火災防止

ライター・マッチが全体の70%超を占める



令和7年度に発生した火遊びによる火災は491件でした。火遊びによる火災は、子どもだけで遊んでいる際に発生するケースが多く、発見が遅れることで被害が拡大する要因にもなります。出火原因は「ライター」が

263件（53.5%）と最も多く、次いで「マッチ」が90件（18.3%）で、この2つで全体の70%以上を占めています。

火遊びによる火災を未然に防ぐためには、大人が子どもたちに正しい火の取り扱い方や火災の恐ろしさを伝えることが大切です。火を扱う前には、子どもたちと火の危険性や安全な取り扱いについて話し合しましょう。

花火は安全に楽しく

遊び方を間違えると火災の原因になることも

夏の風物詩といえば「花火」。子どもたちにとっても楽しい季節となりました。夕暮れときには、色とりどりの花火が夏の夜空を彩ります。しかし、遊び方を誤ると、身近な花火でも火災ややけどなどの事故につながるおそれがあります。

全国では、花火が原因となる火災が令和6年度に7件、令和7年度には18件発生しています。花火はルールを守り、安全に十分注意して楽しみましょう。一人ひとりの心掛けが、楽しい夏の思い出につながります。

▶ SFマーク付きおもちゃ花火を使用しましょう

公益社団法人日本煙火協会の検査所では、火薬類取締法に適合しているか否かをみる基準検査、また、花火の構造、燃焼現象、使用方法にかかわる表示を確認し、実際に着火して危険の有無を調べる安全検査を実施しています。これらの検査に合格したおもちゃ花火には、「SFマーク」が付いています。

子どもの火遊びによる火災防止のポイント

1. 子どもだけを残して外出しない
2. ライターやマッチを子どもの手の届くところに置かない
3. 子どもだけで火を取り扱わせない
4. 火遊びをしているところを見かけたら注意する
5. 火災の恐ろしさ・火の取り扱いについて教育する

花火を安全に遊ぶポイント

1. 風の強いときは花火をしない
2. 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ
3. 子どもだけでなく大人と一緒に遊ぶ
4. 説明書をよく読み、注意事項を必ず守る
5. 水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける